

### 新しい市民活動の拠点づくり

市民センター、公民館、地区館などの地域の公的施設に、最近注目が集まっている。それらの施設が、従来の行政の出先機関という位置づけから、市民による行政、NPOや企業との協働の新たな拠点へと、その役割を変えつつあるからである。市町村合併が行われた多くの地域では、改めて地域コミュニティの重要性が認識されつつある。行政区域ばかりが拡大しても、しっかりしたコミュニティの基盤がなければ、市民の生活はむしろ不安定なものになってしまうからである。他方で、行財政改革の推進や指定管理者制度の導入によって、行政の側もこれらの公的施設の管理運営を、もっと市民の手に委ねていこうとする動きを強めている。

今年をこうした動きに乗じて、新しい市民活動の拠点づくり元年を目指す年にしたいものである。拠点づくりといっても、ハードな施設づくりというよりも、市民活動と協働の最前線をつくるためのソフトの蓄積が重要なのは言うまでもない。各地の実情に合った協働のノウハウをしっかりと蓄積していくという姿勢が、市民の側には欠かせない。また、そうした公的施設をひとつの機能に特化するのではなく、市民活動の場の提供、コミュニティ・ビジネスの拠点、行政情報やサービスの窓口などの複合拠点として設計し直していくことも大切である。折から今年9月には、仙台市市民活動サポートセンターも本町から広瀬通りのビープに移転する予定である。こうした機会をさらなる市民活動の推進につなげたいものである。

せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 大滝精一

### 内容

当センターへのメッセージ、百年の杜づくり関連事業、コミュニティビジネス起業家セミナー、セダードサロン、協働コーディネーター養成講座  
らくだのブック、BOOK、事務局活動報告、など

イラスト 関口 憲一さん

## せんだい・みやぎNPOセンターへ新春メッセージ

新年、あけましておめでとうございます。今年の「みんな」新春号は普段から様々な形でお世話になっている各セクターの方より、当センターとの出会い、その中での気づき、そして提案などメッセージとしていただきました。

日本中が寒波で覆われていますが、皆様からの暖かいメッセージを力に、今年もNPO支援に一層励んで参ります。本年もよろしく願いいたします。

● (社)宮城県情報サービス産業協会  
(本文中、「MISA」に省略)  
地域IT化促進委員会 副委員長 池田鏡一さん

せんだい・みやぎNPOセンターのサポート資源提供システムと「MISA」の中古パソコンリユースサポート事業「PC Bridge」との共同事業として、NPOの皆さんへ中古パソコンを提供しています。私自身が代表取締役を務める(株)フレックス池田では、上記事業で中古パソコンのメンテナンス等を実施しています。

この事業に関わるようになってから、初めてNPOの現場をみる機会がありました。世の中には、こんなにもがんばっている人がいるんだということを実感しました。

また、企業は地域に支えられていると常々考えています。たくさんのNPOにパソコンを提供する中で、「MISA」の会員や自社の社員に「自分は地域に役立っているんだ。」と感じてもらえればと思います。それが、仕事の上での自信にもつながるのではないのでしょうか。今後、せんだい・みやぎNPOセンターとは、継続して関わっていきたいと思います。今まで以上に企業とNPOの仲介役として力を発揮していただきたいと考えています。

● シーズ=市民活動を支える制度をつくる会  
プログラム・ディレクター 轟木洋子さん

このメッセージ執筆の依頼を受け、実は私、「せんだい・みやぎNPOセンター」を知ってたつもりで実はよく知らなかったことを発見。

だいたい、この「みんな」という響きも、民間-民間のつながりという意味だけではなく、「せ・みNPOセンター」の「せみ」から取ったものでもあったのですね。今までのこの無知、

どうぞお許してください。

さて、「かんみんが大事だ」という、官民あげでの全国大合唱が聞こえてくるなかで、東北から「みんな、みんな」の音が聞こえてくるのは、涙が出るほど嬉しいものであります。民民の基盤があってこそそのNPO。民民なしに官民がはびこっては危うい世の中になることでしょう。その意味で、民と民の中で、情報、モノ、金の流通システムを作るといふセンターの試みと実行は、この上なく大事だと思うのです。

未だ春は遠く、特に今年は雪深い冬ではありませんが、仙台では年中、元気なセミが鳴き続けていて欲しいと願います。欲を言えば、ホームページをもう少しオシャレにしてね。

● CAPみやぎ  
田中亮子さん

もう何年前になるんだろうせんだい・みやぎNPOセンターの講座に参加したのは？講座に出るたびに、自分たちの団体を客観的に見ることができ、今何が問題なのか、これからどのように改善していけばいいかが具体的にわかるのがよかったです。おかげで、団体としての知名度も上がり、実績も着実に伸びていると思います。また、貴センターのイベントにも参加したことで、いろんな方とのつながりもできましたし、ラジオ収録とか、ステージでの発表とか、普段の活動ではなかなか体験できないこともでき貴重な体験でした。

昨年は、CAP全国研修セミナー in 仙台で「CAPグループに求められる社会的責任」というテーマで加藤さんに講師をしていただきました。これを生かして今年は、もっとレベルアップ

した団体として活動していきたいと思っております。

せんだい・みやぎNPOセンターの皆さま今年もよろしく願い申し上げます。

### ●仙台ゴスペル・フェスティバル実行委員会 実行委員長 桜井絵美さん

せんだい・みやぎNPOセンターと仙台市市民活動サポートセンター、「サポセン」の存在は、活動する上で「あるのがあたりまえ」のような、「空気」のように日頃感じて利用させてもらっています。が、あらためて、「存在」とそれを支えるスタッフの皆さんに感謝の気持ちを、この場を借りて申し上げたいと思います。

私たちNPOのまさしく「センター（真ん中）」で、活動を「サポート」してくださっているのだと心から思います。（おせじなんかではありません！）市民活動の「深み」「広がり」のために、ソフト面（情報・講習会や様々な企画）から、ハード面（会議・作業場所、そこから得る交流）からサポートしてくれているのですから。

そして、感謝したいのは、スタッフの皆さんの「笑顔」！その笑顔を裏切らないように（?!）あたりまえのことなのですが、諸手続きの締切りを守り責任ある行動をします！

今年もどうぞよろしく願いします！

### ●河北新報社報道部記者 大須武則さん

あけましておめでとうございます。昨年4月からNPOを担当しています。初めての仙台勤務で仙台のNPO事情に疎いことから、「せんだい・みやぎNPOセンター」と「仙台市市民活動サポートセンター」は、重要な取材拠点となっています。一昨年夏、仙台に出張に来た折、某飲食店でたまたま隣り合わせになった知性あふれる男女と

話しをしました。名刺を交換すると、加藤代表理事と紅邑事務局長でした。それから半年後にNPO担当となったのですから、縁とは不思議なものです。

スタッフの皆さんは、責任をもって分担をこなし、取材への対応も親切で的確です。ホームページからNPO情報ライブラリーをよく利用します。取材しようと思う団体を探すのに大変役立っています。

NPO取材の中では、情報発信が得意ではない団体が多いと感じています。「せんだい・みやぎNPOセンター」には、そうしたNPOへの助言や支援を期待します。

### ●柴田町まちづくり推進課まちづくり推進係 色川真理さん

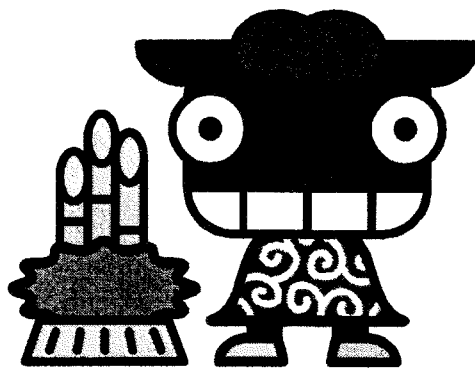
新年、あけましておめでとうございます。

せんだい・みやぎNPOセンターとの初めての出会いは、センター主催の講座を受講したことでした。その内容はとても分かりやすく説得力があり、市民活動の現場で活躍する方が持っている知識やノウハウ、思いはこれからの住民主体のまちづくりに必要なものだ、と強く実感しました。その後、職員研修の講師や「住民自治基本条例検討委員会」の委員、「第3期柴田町まちづく

り委員会」のコーディネーターをお引受けいただくなど、様々な機会でお付き合いさせていただいております。貴センターとのやり取りの中では、時々厳しいご指摘をいただくこともありますが、決して嫌な気持ちになることはなく、むしろ前向きな気持ちを持つことができます。（最初は多少へこんだりしますが・・・）それも信頼があるからこそ、このような関係を築けているのもありがたいことだと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

### ◆メッセージありがとうございました！

読者の皆さんからのご提案をお待ちしています。



報  
告

## 百年の杜づくり関連事業 ～2005年の取り組みとこれから～ 主催：仙台市 企画・実施：当センター

市民と行政の協働のまちづくりを目指し、緑づくりを通しての市民参加の促進を図ってきました。2005年に当センターが取り組んだ事業の報告とこれからの予定をお知らせします。

### ■仙台発「市民の森」が動き出しました

青葉区荒巻の仙台市が所有する保存緑地を、市民が主体となり保全・活用するための検討を2005年4月～12月にわたり進めてきました。今後は「市民の森講座&フィールドワーク」の受講者18名を中心に発足した（仮称）仁田谷地・市民の森を創る会の活動支援を行っていきます。

### ■情報紙「せんだい百杜通信」の発行継続

仙台市やNPO・市民活動団体が行う緑づくりの活動情報を紹介する情報紙として、この1月でNo.3の発行となりました。緑づくりのお役立ち情報やイベント情報も掲載しています。\*No.3（平成18年1月発行）/No.4（平成18年3月発行予定）

### ■緑の市民ネットワークをつくろう！

多くの緑づくりを通じたまちづくりに取り組む市民やNPO・市民活動団体が、より活発な活動を継続していくためには、何が必要でしょうか。また、この仙台の街でさらに何ができるでしょうか。シンポジウムでは先行事例を伺い、さらにワークショップで具体的な取り組みを考えます。

#### ●百年の杜づくりシンポジウム「みんなでつくろう緑の輪～事例で学ぶ人づくり～」

日時：1月28日（土）13：30～17：00 会場：戦災復興記念館 5階会議室

#### ●百年の杜づくりワークショップ「緑を通じた人づくり・まちづくりワークショップ」<全2回>

日時：2月11日（土・祝）・25日（土）13：30～17：00

会場：仙台市上杉分庁舎 5階第2会議室

## 報告

### コミュニティビジネス 起業家セミナー

主催…（財）仙台市産業振興事業団  
企画・実施…当センター

今年度のコミュニティビジネス（以下、CB）の支援事業には、二つの特徴がありました。

一つは、主催の事業団と当センターが仙台市におけるCB推進について「協働」で事業を進めることを取り交わしたことです。二つ目は、より多くの市民に関心を持っていただくために、新たに「入門編」を加え、起業編とともに二段階で事業を実施していくことです。

この二つの取り組みによって、より多くの方にCBを知り学んでいただくことができた上に事業団の既存の事業との連携で、より充実したサポート体制で受講生のフォローが実施できています。

これからも今年のような取り組みを継続していくことが、仙台におけるCBの広がりや成功につながるという手ごたえを感じる事ができました。

今後皆様のご参加や提案をお待ちしています。

#### ■実施状況

##### 入門編

内容…CBのはじめかた・3名のゲストの事例報告

7月19日 出席…55人（応募数69人、定員40人）

7月26日 出席…46人（応募数70人、定員40人）

##### 起業編

期間…9月4日～1月18日まで

内容…講座4回・個人カウンセリング2回・プチ実践・交流会

出席…28名（応募数35人、定員20名）

（遠藤智栄）

## 報告 センタードサロン

■11月28日

子どもを守るNPO大集合！  
～守る・育てる・助ける・コラボでつなぐ子どもの未来～

“子どもを守る”という大きなテーマのもと、人権・障害児・不登校などの分野のNPOの方や地域でパトロールの活動をされている団体にも集まっていただきました。

子どもの殺傷事件が相次いでいる昨今、NPO・地域・行政が連携し、子どもが安全に地域で育っていくことについて情報交換をしました。

参加していただいた団体は、自分の身近で活動している他団体の様子を知ることで、それぞれの活動にヒントを得ることが出来たようでした。また、活動の悩みや提案などでは、“守る”ということの持つ複雑さや、地域の人全てが当事者であるという意識を持つ事の重要性を再認識させられました。

これまでつながりのなかった団体が情報を交換出来たことで、新たな活動の広がり考えることが出来るサロンになりました。(門間裕美)

■12月12日

私のライフワークとNPO  
～私がNPOの理事をやる理由～

当センターの針生理事、田代理事のおふたりに、様々なNPOで活動をはじめのきっかけや経緯、理事としての関り、複数のNPOで活動するコツなどを話していただきました。今回はサロンの中で印象的なお話を2つ報告します。

1. 一つの団体に関わると、関連する団体や活動に興味湧いたり、連携する必要性がでてきますから、いつの間にか複数の団体で活動するようになります。いずれも地域の課題を解決するための活動に取り組んでいます。

2. 人間関係が希薄と云われる社会なので、人と人、人と地域、地域と学校、そして会社や社会へとつながりを作る活動をしています。コミュニケーション能力や他人のことを考える力をつけるために、様々なワークショップを行っています。

「理事の仕事を通して社会をより良くしたい」というおふたりは、NPOの活動を始めて人生観が変わったということでした。(遊佐さゆり)

報告

## 地球環境市民大学校 環境保全 協働コーディネーター養成講座

講義とNPOの協働の経験談を聞きながら「協働コーディネーター」の技を学ぶ講座を、岩手県盛岡市で2005年11月26日(土)～27日(日)に実施しました。主に北東北の環境NPO/NGOや行政職員などが参加し、充実した2日間を送りました。講座では、当センター代表理事の加藤が「協働」の歴史・現状・仕組みとネットワークなどについてレクチャー。グループワークでは議論が飛び交いました。

特に「戦略(地域政策)協働」については当事業の協力3団体が地域のパートナーシップの実情を報告。その現状について、「パートナーシップ組織は地域の戦略を協議するテーブルづくりを実施することが重要で、そのテーブルのガバナンスはNPOと行政とが協働で実施することが重要」であることを指摘しました。しかし、各地域での推進状況は厳しいことが協力3団体の発表や議論からわかりました。

協力団体のサポートの元を実施した本講座からは、東北地域における「協働」の共通理解づくりがまだ道半ばであること、各地の支援組織やNPOと連携して地域の実情にあった講座を開催することの重要性を再認識しました。(遠藤智栄)

主催…(独)環境再生保全機構 地球環境基金  
企画…実施…当センター  
協力…(特活)青森県環境パートナーシップセンター  
(特活)環境パートナーシップいわて  
(特活)環境あきた県民フォーラム

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.19  
 ひあわせのお菓子タクシー。

常務理事・事務局長 紅邑 晶子

ヘンゼルとグレーテルの話の中で、お菓子の家がでてきますが、わたしは新年早々に「お菓子タクシー」に乗車しました。

大風が吹いた初出勤の日、出勤の支度が遅れてタクシーを拾い乗り込みました。行き先を告げようとして、(おやっ?) タクシーの後部座席の様子がどこか違います。なんと、そこには色とりどりのお菓子の袋が賑やかにぶら下がっていました。まるで駄菓子屋さんのよう。「運転手さん、このお菓子は・・・。」と尋ねると、「どうぞ、好きなお菓子を選んでください。お金は要りませんから」との返事。飴やポケットティッシュを差し出してくれる運転手さんに出会うことはありましたが、これは衝撃的な出来事でした。

なぜ、これほどのお菓子を積み込むようになったのか聞いてみると、ある日子どもが飴をなめるのに飽きて吐き出したそうです。

ところが、出したとたんに別な飴をなめたいと駄々をこね、母親にしかられたのをみて、棒付のキャンディーがあるといいと思ったそうです。

すると、子連れの子親に喜ばれる事が増えて、それならいろいろなお菓子を用意してみようということになり、現在のようなお菓子タクシーになったそうです。その結果、指名も増えて、「お菓子タクシーお願いします」という連絡が入るようになったそうです。

実はこのタクシー、大人にも好評で懐かしい駄菓子を発見して大喜びという人もよくいるそうです。規制緩和でタクシーが増えすぎて、客待ちのタクシーの列が長く続かなかで、「お菓子タクシー」との出会いが、今年を幸せに生きるヒントをいただいた気がしました。どこのタクシー会社か知りたい方は、紅邑までご連絡ください。

「なんて無意味に機嫌の悪い人が多いのでしょうか。」この本の出だしはこんな一文から始まります。確かに四六時中、機嫌がいい人なんてなかなかお目にかからないし、気を付けていないと人は不機嫌になりやすいのかもしれない。でも不都合なく生きていくわけだし、そもそも機嫌に作法も何もないんじゃないか。そんな疑問を持つて読み始めた私は、上機嫌が作法として重要であり、常に上機嫌であり続けることのメリットを十分に理解することになりました。

その理由が周囲へ与える影響です。不機嫌でいることで仕事がかたどったり、誰かの気分が悪くなったりすることはありません。筆者は、その不機嫌さが社会を非生産的にしてしまうと説き、自分の属する社会をスムーズにするためにも気分をコントロールすること、それが重要と語っています。そして円滑なコミュニケーションのための手段として、「上機嫌」の状態を自分の「技」にすることを提唱しているのです。それでは、具体的に「上機嫌」を「技」として自分のものにするにはどうしたら良いのでしょうか。その方法と実践するための数々のノウハウもこの本に盛り込まれています。

例えば会議やプレゼンを行う際に簡単に取り入れられるのは「拍手」です。拍手を用いることによって、気持ちを高揚させてプレゼンをスムーズにししたり、場に締まりが生まれると言います。

この本には、こういったすぐに取り入れられるコツがたくさん書かれています。「最近、うちのスタッフが活気がないな」と思うNPOのみならず、一冊です。

(本田ふみ)

BOOK

「上機嫌の作法」

斎藤孝 著

角川oneテーマ21

発行

705円(税別)

活動  
報告

## 事務局活動報告

(10/21~12/20)

## ■事務局/自主事業関連

- ・センター会議 (10/26・11/30)
- ・みんなファンド贈呈式 (10/28)
- ・せんだいCARES「オープニング」「その日せんだいはゴミのない街になる」「フィナーレ」(11/5・11/19・12/3)
- ・大町全体ミーティング (11/7・12/7)
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (11/8・18・12/9・19)
- ・経営会議 (11/17・12/15)
- ・理事会 (第79回:11/24 第80回:12/20)
- ・セナードサロン「子どもを守るNPO大集合」「私のライフワークとNPO」(11/28・12/12)
- ・サポート資源提供システム運営委員会 (12/1)
- ・ドナーの学校 (12/9)

## ■NPO/企業関連

- ・市民活動講座/主催:(特)くりはら活性化ネット (10/23 紅邑)
- ・NPOリーダーステップアップ講座/主催:福岡県NPO・ボランティア支援センター (10/23・24 加藤)
- ・コミュニティ自立研究会ヒアリング調査/主催:(財)東北開発研究センター (10/29・30・11/28 加藤)
- ・NPOスタッフ養成・設立研修/主催:くしろ市民活動センター運営協議会わっと (10/25 加藤)
- ・「あなたも社会起業家!」/主催:ボランティア文化フェスティバル2005 in 仙台実行委員会 (11/6 加藤)
- ・(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク評議員会 (11/14 遠藤智)
- ・「CSRは企業戦略になり得るか?」/主催:(社)東北ニュービジネス協議会 (11/15 紅邑)
- ・みやぎNPOプラザ運営評議会 (11/15 青木)
- ・記者研修/主催:河北新報 (11/18 加藤)
- ・「事業とコミュニティを育てる3日間」/主催:IIHOE (11/19・20 加藤)
- ・「チャレンジコミュニティ創成」プロジェクト第3回ギャザリング/主催:(特)エディック (11/21 加藤)
- ・日本損害保険協会災害フォーラム/主催:(社)日本損害保険協会 (11/22 紅邑)
- ・「これだけは知っておきたい広報活用術!!」/主催:(特)コラボNPOふくい (11/27 紅邑)
- ・特別講座/主催:東北文化学園大学 (11/4・12/9 青木)
- ・SSCS中間報告会/主催:(特)市民社会創造ファンド (12/11 紅邑)
- ・NPO講座「コミュニティ再生の地域ガバナンス」/主催:那覇市NPO活動支援センター (12/17 加藤)
- ・NPO連続セミナー in 石垣市/主催:勤労者マルチライフ支援事業沖縄事務局 (12/18 加藤)

## ■自治体関連

- ・NPOマネジメントセミナー「NPOの運営と協働のコツ」/主催:静岡県 (10/21 加藤)
- ・仙台市市民活動サポートセンター「NPOいろは塾」「PR大作戦」「ボランティアマネジメント」「市民活動カラフルフェスタ」「活動ストーリーから学ぼう」(10/22・24・11/12・13・25・12/8)
- ・ステップ2研修「住民協働」/主催:(財)ふくしま自治研修センター (10/26・11/9・30・12/14 加藤)
- ・宮城県ボランティアコーディネーター養成研修/主催:(社)宮城県社会福祉協議会 (10/27 青木・真壁)
- ・「元コピーライターが教えるNPOの広報大作戦!」/主催:山形県 (10/27・11/10 紅邑)
- ・NPOマネジメント講座「NPOきらめき塾・上級編」/主

- ・催:岩手県一関地方振興局 (10/30 加藤)
  - ・柴田町まちづくり委員会 (10/28 紅邑・真壁)
  - ・研修「NPOとのパートナーシップ」/主催:秋田県自治研修所 (10/31・11/1 加藤)
  - ・研修「市民協働・NPO基礎講座」/主催:仙台市職員研修所 (11/2 加藤)
  - ・「市民活動を進めるワスリート会議」「市民活動を進めるワーキング」/主催:多賀城市 (11/2 加藤)
  - ・コミュニティビジネス起業家セミナー「起業編」/ (財) 仙台市産業振興事業団 (11/8・29 加藤・遠藤)
  - ・シニア世代ベンチャー・NPO研究会/主催:仙台市市民局 (11/8 加藤)
  - ・石巻市職員研修会「NPOと行政の協働について」/主催:石巻市 (11/8 紅邑)
  - ・協働事例報告会/主催:岩手県 (11/11 加藤)
  - ・FEEL Sendai 会議/主催:仙台市環境局 (11/11・12/19 遠藤智)
  - ・栃木県地球温暖化防止活動推進員研修会/主催:(財)栃木県環境技術協会 (11/12 加藤)
  - ・(仮称)市民参加型まちづくり懇談会/主催:仙台市都市整備局 (11/15 紅邑)
  - ・市民トラストの森「定例会」[森のシャンテリアで会いましょう]/主催:仙台市 (11/13・20・12/18 青木・佐藤)
  - ・地域づくり交流会ワーキンググループ/主催:東北地方整備局 (11/21 遠藤智)
  - ・北上市協働推進フォーラム「協働で北上をどう変えるか〜協働なんて怖くない!〜」/主催:北上市 (11/22 加藤)
  - ・クリーン仙台推進員グループ学習会/主催:仙台市環境局 (11/24・12/1 加藤)
  - ・協働コーディネーター養成講座 (11/26・27 加藤・遠藤智・布田)
  - ・きらめきスクール「NPO法人ってな〜に?」/主催:(財)仙台ひと・まち交流財団 (12/2 遠藤孝)
  - ・「ボランティア・市民活動の停滞を打破するために」/主催:(社)福)青梅市社会福祉協議会 (12/5 加藤)
  - ・勤労者マルチライフ支援事業/主催:(特)レスパイトハウス・ハンズ (12/6 加藤)
  - ・総合型地域スポーツクラブ育成助成金審査会 (12/6 遠藤智)
  - ・「考える!地域づくりの本音〜あなたの『つぶやき』を形にしていませんか〜」/主催:柴田町 (12/10 紅邑・真壁)
  - ・最上川リバーツーリズムセミナー/主催:最上川流域観光交流推進協議会 (12/10 遠藤智)
  - ・仙台市生涯学習研修会/主催:仙台市教育委員会 (12/11 加藤)
  - ・富士市役所職員研修 (12/12・13 加藤)
  - ・市民フォーラム「市民とつくる新市民活動サポートセンター」/主催:仙台市市民局 (12/14)
  - ・東北EPO設置運営検討会/主催:環境省東北地方環境事務所 (12/14 遠藤智)
  - ・花巻市民活動研修会/主催:(特)花巻市民活動支援センター (12/15 紅邑)
  - ・仙台市青葉区まちづくり活動助成事業評価委員会 (12/16 紅邑)
- 相談、ヒアリング関連
- ・経営相談 (11/18・12/20 加藤)
  - ・研修受入:奥州・いわてNPOネット
  - ・視察:(特)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、世田谷区
  - ・ヒアリング:宮城大学地域連携センター、(財)東北開発研究センター、(特)NPO事業サポートセンター

## サポート・ご協力 ありがとうございます

### ●平成17年度会員 (敬称略・順不同、2005年10月21日～12月20日)

(新規・正会員) フレッシュパール会、大川原潔

(新規・準会員) 中務恵美

(継続・正会員) 岸田清実、加藤哲夫、木村正樹、小島妙子、佐藤覚治、小島誠、遊佐みゆき、男澤清勝

(継続・準会員) 上野和弘、須藤達也、楠喜博、石田春子、佐々木孝行

### ●企業・団体協力 (五十音順、敬称略)

岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて) 富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

### ◆NPO経営相談

日程：2/13 (月)、3/17 (金)

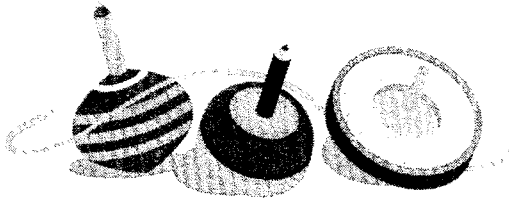
時間：13:00～17:00

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

アドバイザー：加藤哲夫

相談料：2500円 (1時間単位、会員500円割引)

(予約制 担当：青木)



発行：特定非営利活動法人  
せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F

tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@minmin.org

http://www.minmin.org/

会費・寄付はこちらにどうぞ!

郵便振替：02260-3-16325

加入者：せんだい・みやぎNPOセンター

編集スタッフ：遠藤智栄、真壁さおり、門間裕美

### ◆報告◆

#### ドナーの学校事業

昨年の12月9日に実施した「12月のドネーションパーティー」では、たくさんのご来場、ご寄付、誠にありがとうございました!

2005年12月9日 (金)  
エル・パーク仙台 スタジオホール

#### OKOKORO TICKET販売金額

当日投票分	469,000円
その他販売	198,000円
<b>合計</b>	<b>667,000円</b>
うち参加NPOへ	432,500円
みんなファンドへ	234,500円

#### 募金箱コンテスト期間中

募金額合計 4,487円

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15～20分



### みんな編集後記

■今年度は、私のふるさと山形に「まちづくり」や「リバーツーリズム」の応援で通わせてもらった。このような形で地元にかかわれるのはありがたい。これからは、仙台や全国の意思を同じくする人たちとの元気の出るネットワークづくりに力を入れたいな! (遠藤ち) ■年末に初めて「岩盤浴」を体験しました。ビックリするほど汗が出て身も心もすっきり。改めて「代謝」の大切さを実感。でもこれって、自分のカラダだけでなく世の中も職場も同じ。前進するためには良い「代謝」もしないとね。(真壁) ■元旦に94歳の祖父と、93歳の祖母に会いに行きました。祖父は、100歳まで元気に祖母と暮らす計画があり、周囲はそのパワーに驚かされるばかり。健康で元気な二人の共通点は、クヨクヨしないことと、大の甘党なこと。長寿の秘訣はここにある!? (門間)

★寒い日が続きます。お体ご自愛下さい。